



受益者の皆様へ

単位型投信／海外／株式

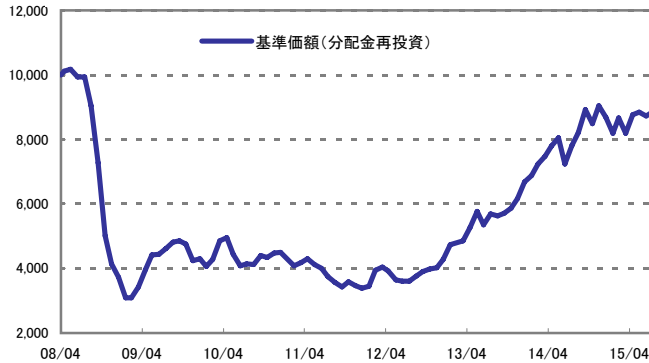
運用実績

2015年7月31日 現在

運用実績の推移

(設定日前日=9,632.5(注)を10,000として指数化:月次)

(注)ファンドの当初1口=1万円よりお申込み手数料及び同手数料の5%の消費税等相当額を差し引いた額を指します。



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 8,542円

※分配金控除後

純資産総額 35.3 億円

騰落率

期間	ファンド
1か月	1.7%
3か月	1.1%
6か月	8.3%
1年	13.6%
3年	146.3%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に選った期間としております。

設定来 -11.3%

設定来累計 0円

設定来=2008年4月17日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。  
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目録見書)記載の「分配方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

- 信託設定日 2008年4月17日
- 信託期間 2018年10月17日まで
- 決算日 原則10月17日  
(同日が休業日の場合は翌営業日)

分配金(1口当たり、課税前)の推移

2014年10月	0円
2013年10月	0円
2012年10月	0円
2011年10月	0円
2010年10月	0円

資産内容

2015年7月31日 現在

国・地域別配分

国・地域	純資産比
アラブ首長国連邦	30.9%
カタール	28.1%
エジプト	14.6%
クウェート	12.9%
サウジアラビア	5.3%
その他の国・地域	6.9%
その他の資産	1.3%
合計	100.0%

・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。

通貨別配分

通貨	実質通貨比率
UAE・ディルハム	28.8%
カタール・リヤル	28.1%
エジプト・ポンド	13.0%
クウェート・ディナール	12.9%
アメリカ・ドル	11.2%
その他の通貨	6.0%

・実質通貨比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

業種別配分

業種	純資産比
銀行	46.3%
不動産管理・開発	20.2%
コングロマリット	5.6%
ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	5.0%
食品	4.5%
その他の業種	17.0%
その他の資産	1.3%
合計	100.0%

組入上位10銘柄

2015年7月31日 現在

銘柄	国・地域	業種	純資産比
QATAR NATIONAL BANK	カタール	銀行	10.7%
EMAAR PROPERTIES PJSC	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	9.8%
COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK	エジプト	銀行	7.7%
INDUSTRIES QATAR	カタール	コングロマリット	5.6%
NATIONAL BANK OF KUWAIT	クウェート	銀行	5.2%
FIRST GULF BANK	アラブ首長国連邦	銀行	3.9%
ABU DHABI COMMERCIAL BANK	アラブ首長国連邦	銀行	3.6%
ALDAR PROPERTIES PJSC	アラブ首長国連邦	不動産管理・開発	3.6%
QATAR ELECTRICITY & WATER CO	カタール	総合公益事業	3.4%
DUBAI ISLAMIC BANK	アラブ首長国連邦	銀行	3.1%
合計			56.8%

組入銘柄数 : 36 銘柄

・銘柄は株式およびこれに準ずるものを含み、名称は原資産を表記しております。  
・国・地域は原則発行国・地域で区分しております。  
・純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります)。ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



受益者の皆様へ

単位型投信／海外／株式

## 先月の投資環境

○アラブ諸国株式市場は、UAE(アラブ首長国連邦)が上昇した一方でカタールやクウェートが下落し、ほぼ横ばいの推移となりました。

○エジプト株式市場は、月初、エジプト東部シナイ半島で軍と武装勢力の衝突があったことから国内政情不安が懸念され下落して始まりました。その後も、UAEの大手不動産会社のエジプト部門のIPO(新規株式公開)が不調に終わったことや、外貨準備高の減少などが懸念され下落基調で推移しました。後半は、大手食品会社の4-6月期決算が市場予想を上回ったことや大手銀行の好決算への期待から反発したものの、月間で下落となりました。

○UAE株式市場は、月初、ギリシャ債務問題を巡る不透明感や原油価格の下落、中国株式市場の急落などを背景に下落して始まりました。その後は、ギリシャ金融支援策の合意が好感されたことや、イラン核協議が最終合意に達したのを受け、経済制裁解除による投資拡大の恩恵が期待される運輸株や不動産株が大幅上昇したことから上昇基調で推移しました。下旬は、原油価格下落の影響で一旦調整したものの、大手銀行の4-6月期決算が好調だったことから反発し、月間で上昇となりました。

○カタール株式市場は、月初、ギリシャ債務問題を巡る不透明感や原油価格の下落、中国株式市場の急落などを背景に下落して始まりました。その後、大手銀行の4-6月期決算が市場予想を上回ったことや、ギリシャ金融支援策の合意などが好感され反発したものの、原油安を背景に再び下落基調で推移し、月間で下落となりました。

○クウェート株式市場は、ギリシャ債務問題を巡る不透明感や、原油価格の下落を背景に軟調な推移で始まりました。その後は、大手銀行の4-6月期決算内容が好調だったことやギリシャ金融支援策の合意などが好感され反発したものの、原油安を背景に再び軟調な推移となり、月間で下落となりました。

○サウジアラビア株式市場は、ギリシャ債務問題を巡る不透明感や、原油価格の下落を背景に軟調な推移で始まりました。その後は、隣国イエメンとの約1週間の停戦が発表されたことや、大手銀行の4-6月期決算内容がおおむね好調だったこと、ギリシャ金融支援策の合意などが好感され反発し、中旬にかけて上昇しました。下旬は、中国の景気減速懸念や供給過剰感などから原油価格が一段と下落したことを受け軟調な推移となり、月間でほぼ横ばいとなりました。

## 先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間の基準価額(分配金再投資)の騰落率は、+1.65%となりました。UAEの銀行株やエジプトの食品株などの上昇が主なプラス要因となりました。

○国別配分は、組入比率の高い順に、UAE、カタール、エジプト、クウェートとしました。

○業種別配分は、組入比率の高い順に、銀行、不動産管理・開発、コングロマリット(複合企業)としました。

○月間の主な売買としては、UAEの不動産株を利益確定のため一部売却しました。買い付けは行ないませんでした。

## 今後の運用方針(2015年8月6日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○アラブ諸国株式市場については、短期的には原油価格の動きや世界的な株式市場の動向に左右される展開が予想されますが、ファンダメンタルズ(経済の基礎的条件)が比較的堅調であり、これまで積み上げてきた潤沢な資金があることや、個人消費やインフラ整備の拡大などエネルギー分野以外で堅調な成長が期待できることが株式市場を下支えすると見えています。

○UAEについては、可処分所得の増加、人口増加、教育水準の高まりなどを背景に、ヘルスケア分野などで高い成長が期待できると見えています。カタールについては、2022年のサッカーワールドカップ開催へ向けたインフラ投資が計画通り行なわれれば、実質GDP(国内総生産)成長率を押し上げると見えています。

○サウジアラビアについては、足元の原油価格水準においても、個人消費が堅調で同国の経済を下支えすると見えています。また、今後外国人投資家の直接投資による資金流入の拡大が期待され株式市場は中長期的に堅調に推移すると見えています。

○エジプトについては、地政学的リスクや国内の政治情勢、主要貿易相手である欧州の景気動向などに注意が必要であると見えています。一方、石油輸入国であることから原油価格が低位安定すれば経済を下支えする要因になると見えています。また、スエズ運河の新水路が完成したことで、今後外貨収入の増加が期待できると見えています。

○国別配分については、UAE、エジプト、サウジアラビアの投資比率を市場平均よりも高めに維持する方針です。

この報告書は、ファンドの運用状況をお伝えすることを目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。当ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。